

# エビスタ®服用の患者さんへ

## エビスタ®がどんなお薬か知っていますか？

エビスタ®はSERM（サーム）という種類のお薬です。

骨は、毎日代謝して造りかえられています。女性は閉経を迎えると、女性ホルモン（エストロゲン）の分泌が低下します。

これにより骨の代謝のバランスが崩れ、骨を壊す働きが強くなると、骨粗しょう症の状態になります。SERM（サーム）は、骨の壊れる働きを抑える作用があります。



参考：©骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会編：骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン  
2025年版 第1章C.骨粗鬆症の成因

## エビスタ®と女性ホルモンの違い

女性ホルモン（エストロゲン）は骨以外の組織（乳房や子宮）にも影響を与えますが、エビスタ®は骨に対してエストロゲン様作用を示します。

エビスタ®は骨に作用することで骨粗しょう症の進行を抑えることが確認されているお薬です。

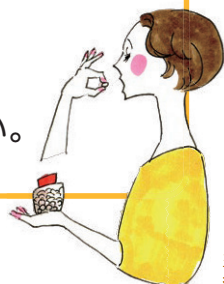
エビスタ®は閉経後骨粗しょう症治療薬です。  
1日1回1錠服用します。  
時間や食事を気にする必要はありません。

※1日に2錠は飲まないでください。

エビスタ®は1日1回1錠服用してください

骨粗しょう症のお薬は継続して服用する  
ことが重要です。

必ず主治医の指示に従って服用してください。



## エビスタ®の副作用

主な副作用として次のようなものが報告されています。

- ・顔がほてる
- ・乳房がはる
- ・吐き気がする
- ・汗がよく出る
- ・体がかゆい
- ・足がつる、こむら<sup>じょうみやくけっせん</sup>がえりをおこす
- ・静脈内に血のかたまりができる（静脈血栓<sup>せんしゅう</sup>そく栓症）

※服用後に次のような症状があらわれた場合には、使用をやめて、  
主治医にご相談ください。

- 片方のふくらはぎが赤く腫れたり、ふくらはぎを押すと痛む
- 急に息苦しく感じたり、胸苦しさを感<sup>かん</sup>じる
- 急に視力が低下した
- 全身けん怠感、食欲不振、吐き気等があらわれた

その他、何か気になる症状を感じた場合は、主治医にご相談ください。

CLINIGEN

クリニジェン株式会社

EVI251209  
2025年12月作成